

イスラエルの旅シリーズ ⑦

エルサレム市内 D

訪問日 2017年11月10日(金)

- ・ リディーマー・ルーテル教会 Church of the Redeemer
- ・ 嘆きの壁 West Wall

リディーマー・ルーテル教会(あがない主教会)

エルサレムの旧市街中心、聖墳墓教会の筋向かいにそびえ立つ白亜のルーテル教会。
1898年にドイツ皇帝ヴィルヘルム2世が建立した。
現在はヨルダン・ルーテル教会のアラブ語礼拝のほかに、
ドイツ語、英語の礼拝を行っている。
内部に十字軍時代のチャペルを移築してある。
現在はルーテル世界連盟が運営。

嘆きの壁(West Wall)

神殿域の西側の石壁で、現在の壁の高さは21m。
下から7段目まではひととき大きな石を積み上げてある。
ヘロデ時代の神殿を囲む壁の名残である。
その上は付け足された部分で石のサイズが小さくなっている。
ユダヤ人の聖地で、ここに来てエルサレムの復興を祈る。
1948年からはヨルダンの管理下になり、近づくこともできなかったが、
1967年の6日間戦争に勝利して1900年ぶりにユダヤ人の手に戻った。



動画 YouTube

<https://youtu.be/V0i3wiwgAWo>